

九州で8年ぶりの新現役交流会

2023年度福岡開催 しんくみ新現役交流会

「2023年度福岡開催 しんくみ新現役交流会」が2023年12月14日に全国信用協同組合連合会 福岡支店にて開催されました。九州では8年ぶりの「新現役交流会」になります。（前回は、北部九州信用金庫協会が主催し、7信用金庫合同で開催されました。）



挨拶される
全信組連 小野常勤理事

今回の「新現役交流会」は令和5年度「九州経済産業局における地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業」の一環として実現したものです。全国信用協同組合連合会が主催団体となり、九州経産局の委託を受けたリクルーティングパートナーズ（株）が新現役の募集を行い、新現役交流会サポート（SKS）が運営ノウハウの提供をしました。参加は3信用組合（福岡県信用組合、佐賀東信用組合、大分県信用組合）、事業者10社、新現役40名でした。4階の対面会場で3社、6階のオンライン面談会場で7社の面談が行われ、面談数63回となりました。

関東経済産業局が開催案内を同局登録の新現役に配信していただいたお蔭で、関東経産局登録者も参加新現役の半数ほどになりました。多くはオンラインでの参加でしたが、自費でわざわざ会場にお越しいただいた方も数人いらしてその熱意に頭が下がりました。

開会冒頭で全国信用協同組合連合会常勤理事 小野和茂氏、九州経済産業局産業人材政策室室長 大和暢子氏の挨拶に続き、当会SKS代表理事 保田邦雄より交流会の運営の留意点の説明があり、その後各会場に分かれて熱のこもった面談がくり広げられました。

社長からは「実務に忙殺されてなかなか将来のことを考えられないが、振り返りのよい機会になりました。」「いつも一人で考えて堂々巡りになっていたが、客観的な立場から多数の意見を聞いて頭が整理できました。」「新鮮な観点からの提案はとても刺激になりました。」など。新現役からは「東京、福岡で二拠点生活をしているので将来展開のことを考えて参加しました。」「とてもよい試みだと思う。自分のキャリアを活かせるのはとても嬉しい。」。



九州経済産業局 大和室長



SKS 保田代表理事による説明



対面での面談

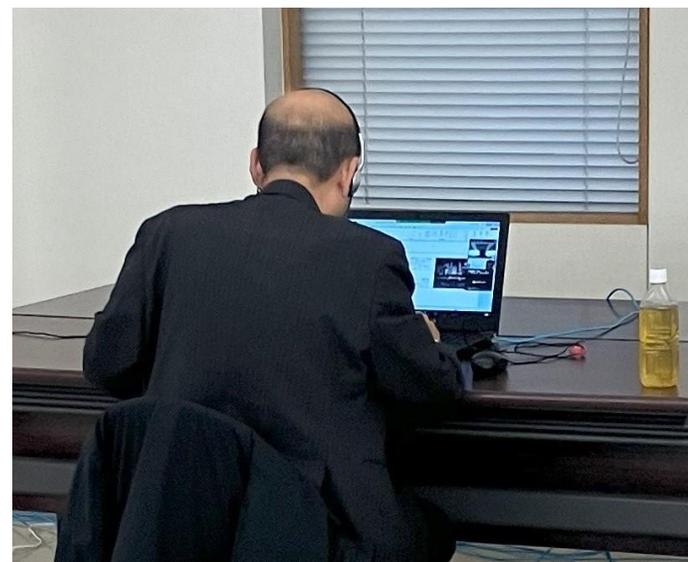
「ぜひ来年は福岡県中小企業家同友会でも開催したい。」という熱い思いを胸に見学されました。

九州に再び灯った「新現役交流会」の灯を絶やさず大きくしたいと強く思いました。

文＝野澤

支店長からは「よい勉強になりました。社長への提案を聞いていると自分の職場でも生かせる施策がいくつもあり、参考になりました。」などの感想が聞かれました。それぞれの立場は違っても共に成長していけるのが「新現役交流会」のととても良いところだと思います。

前日には福岡県中小企業家同友会 企業連携推進委員会（FAST）で保田SKS代表理事が講演しましたが、講演を聞かれた5名の方が



オンラインでの面談